令和６年２月２７日

　組　合　員　各位

山形県石油協同組合

２０２３(令和５)年度補正予算の概要について

　毎々格別のご協力をたまわり誠にありがとうございます。

　さて首題の件、現時点における補助事業の概要が示されましたのでお知らせします。

　つきましては、本概要をご確認いただき、申請についての具体的な手続きは「補助事業の手引書」（現在策定中）にてご確認いただきたく存じます。

* ２０２３(令和５)年度補正予算『ＳＳ等の地域配送拠点における災害対応能力強化事業』

**【１】補助対象設備**

1. 燃料貯蔵タンク等の大型化等（ＳＳ・油槽所）
2. 燃料貯蔵タンク等の修繕（ＳＳ・油槽所）
3. ベーパー回収設備（ＳＳ）
4. 緊急配送用ローリー（ＳＳ・油槽所）
5. ＰＯＳシステム（ＳＳ）
6. 灯油タンク等スマートセンサー（ＳＳ）
7. 自家発電設備（ＳＳ・油槽所）

**【２】補助対象者**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 対象となる者 | 対象設備 |
| ＳＳ | ＊中核ＳＳ、住民拠点ＳＳ＊ＳＳ運営者でもＢＣＰ策定済みの者 | ①～⑥ |
| 油槽所 | ＊小口燃料配送拠点、配送拠点を運営する揮発油販売業者＊油槽所を運営する石油販売業者でＢＣＰ策定済みの者 | ①・②・④ |
| ⑦自家発電設備 | ＊中核ＳＳ、小口燃料配送拠点＊油槽所を揮発油販売業者･石油販売業者でＢＣＰ策定済みの者（油槽所は設置後８年以上経過したもの） |

**【３】補助率**

　・中小企業：２／３、　非中小：１／３（大企業、元売販社、全農等）

　・自家発電設備：１０/１０

**【４】補助上限額**　　　※以下は中小企業の上限額になります

1. 燃料貯蔵タンク等の大型化等：３０００万円（配管のみは２０００万円）
2. 燃料貯蔵タンク等の修繕：ライニング１０００万円、電気防食５００万円、精密油面計

３００万円、漏えい監視システム３００万円

※ 漏洩対策工事は規制対象年度ではないタンクが対象

◇油槽所タンクの修繕工事：１０００万円

1. ベーパー回収設備：１ＳＳ６００万円（１事業者１２００万円）
2. 緊急配送用ローリー：１０ＫＬ未満４００万円、１０ＫＬ超１０００万円

※１事業者１台限り

1. ＰＯＳシステム：セルフ１０００万円（１事業者２０００万円）、フル３００万円（１事業者６００万円）

◇車番認証システム３００万円（１事業者６００万円）

1. 灯油タンク等スマートセンサー：８７５万円
2. 自家発電設備：１ＳＳあたり２５０万円（中核ＳＳ）

　　　　　　　１施設あたり６００万円（中核ＳＳ以外）

【要点】

* + 申請書類の受付は３月中下旬に開始されます。改めて受付開始のご連絡を申し上げる予定です（併せて手引書や様式類の公開もお知らせします）。
	+ 今回は補助対象欄にあるとおり「ＢＣＰ（事業継続計画）」の策定がポイントです。

（中小企業ＢＣＰ策定運用指針第２版レベル＿見本ご希望は組合まで）

* + 対象者の区分「油槽所」とは、１基３０ＫＬ以上または２基以上で４０ＫＬ以上の貯蔵タンク及び配送用ローリーを保有している者を指します。
	+ 今回、省エネ型洗車機・タブレット型給油許可システムは対象外になりました（補助の目的（災害対応能力の強化）観点から）。
	+ 申請件数（上限）は「１事業者４ＳＳまで」に拡大されます

例）750万円のセルフＰＯＳシステムを複数ＳＳに導入したい場合、１事業者上限2000万

円のため、補助上限額は500万円（2/3）となり４ＳＳまで申請が可能

例）1500万円のセルフＰＯＳシステムを複数ＳＳに導入したい場合、１事業者上限2000

万円のため、補助上限額は1000万円（2/3）となり２ＳＳまで申請が可能

* この場合の2000万円はＰＯＳシステムの上限額であり、重複してその他の設備を申請することが可能です。（それぞれの設備上限の範囲内）
	+ 昨年と同じ設備を申請する場合に執られた「リピーター(減額)」ルールは廃止されます。
* 御不明の点等ございましたら、当組合事務局（担当：菊地）までご連絡願います。

以上